

# 平成26年度函館市事業評価調書

平成26年5月作成

整理番号	1	事業名	姉妹都市交流推進費		事業の性質別	裁量的経費	区分			
予算事項名	大事項	国際化施策推進費		中事項	姉妹都市交流推進費		部課名	国際・地域交流課		
事業開始年度	昭和 57 年度	根拠法令等	なし	<input type="checkbox"/> 法律・政令・省令名( ) <input type="checkbox"/> 道条例, 規則, 要綱等( ) <input type="checkbox"/> 市条例, 規則, 要綱等( )					電話番号	21-3634

## 1. 事業の目的・必要性と内容 (PLAN) ※この事業を行う目的・必要性は何か。どのような取組を行っているのか。

目的・必要性	【目的】 海外の6姉妹・友好交流都市との交流により, 本市の国際化を推進し, 青少年や民間団体等における教育・文化・スポーツ等の幅広い分野での交流拡大につなげることを目的としている。
	【必要性】 民間においても友好交流団体等が姉妹都市交流事業を実施しているが, 姉妹提携は自治体間の提携であり, 各都市の交流の窓口としての役割を発揮するため, 市が主体的に取り組む必要がある。
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姉妹・友好交流都市との交流事業の実施</li> <li>・民間が行う交流事業の支援</li> </ul>

## 2. 概算総事業費 (DO:コスト) ※事業を行うための費用の状況はどうか。コストがどれくらいかかっているのか。

(単位:人,千円)

		平成23年度決算	平成24年度決算	平成25年度予算	平成25年度決算見込	平成26年度予算	平成27年度予算要求
事業費 (A)		6,286	4,999	3,088	2,866	2,574	0
特定財源	国・道						
	市債						
	その他						
一般財源		6,286	4,999	3,088	2,866	2,574	
事業を実施するために必要な人件費 <small>※人工は小数点第3位を四捨五入しているため, 実際に人工がかかっている場合も0で表示されている場合がある。</small>	職員	人工 0.60 4,779	人工 0.60 4,505	人工 0.60 4,345	人工 0.60 4,345	人工 0.60 4,374	人工 0.00 0
	嘱託職員	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0
	臨時職員	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0
	人件費(B)	4,779	4,505	4,345	4,345	4,374	0
総事業費計(A+B)		11,065	9,504	7,433	7,211	6,948	0

3. 活動実績 (DO:アウトプット) ※目的を達成するためにどのように取り組み、その実績はどうか。

活動指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
各都市訪問・受入	人	216	205	128	
クリスマスファンタジー(もみの木受入)	本	46	46	46	

4-1. 成果等 (DO:アウトカム)

※事業の成果指標は何か。

成果指標	定量的な成果指標はない
------	-------------

4-2. 成果等 (DO:アウトカム) ※事業を実施し、どのような成果が得られたのか。

事業の成果等	姉妹都市交流の実施により各市との友好関係を深めていくことで、地域の国際化を推進することができた。
--------	--

5. 事務事業の点検 (CHECK)

評価項目		評価内容	評価内容の説明	評価項目	評価内容	評価内容の説明	
必要性	事業の市民ニーズ	変わらない	姉妹提携は自治体間の提携であるため、市が主体となって民間団体とともに取り組む必要がある。	コスト・負担	コストの節減度	節減できている	交流事業の見直しなどによる、コスト削減を行っている。
	市の関与の妥当性	評価対象外			将来コスト増減見込み	現在より低減する可能性	
			受益者負担の適正度	評価対象外			
成果・有効性	成果の達成状況	達成している	地域の国際化につながる事業を実施している。	執行方法	外部委託の可能性	不可能	自治体間の提携に基づき事業を実施するという業務の性質上、外部委託は難しい。ただし、各都市と函館市の市民団体間の交流促進、関係団体の主体的活動支援、または連携による関連行事の実施など、事業実施方法の効率化を図っている。
	事業目的実現のための手段	現手段が最適			実施方法の効率性	図られている(今後も更に改善可能)	
評価結果から明らかになった課題事項など		特に無し					

6. 今後の改善策 (ACTION) ※今後改善する点は何か。どのように進めていくか。

今後の方針 (改善・見直し内容)	基本方針	(事業について) 市民が姉妹都市を身近に感じられる事業や多様な国際交流が推進できる事業を実施する。
	現行どおり	(経費について) 引き続き、事業実施にあたっては費用対効果を考慮し、コスト削減を行うこととする。

参考: 他の自治体の状況

比較参考値 (他の自治体の類似事業の状況など)	・姉妹友好交流都市数「6」(京都市9、横浜市・大阪市・神戸市・川崎市・岡山市8、仙台市・千葉市・福岡市、金沢市7、さいたま市・新潟市・長岡市・長崎市・佐世保市・成田市・岐阜市・姫路市・奈良市・広島市6)は、全国の市町村の中で11番目。
----------------------------	---